



1 建学の精神 「敬・実・和」 まごころをもって 他の人を敬愛し 和をはかる

2 教育目標

「仲良く・正しく・強く・朗らか」な人間性豊かな幼児を育てる

たくましく

心身共に健康で、元気な明るい子ども

かしこく

よく見、よく聞き、よく考える子ども

だれとでもなかよく

みんなとなかよく、のびのびと遊ぶ子ども

まっすぐなところで

きまりを守り、進んでよいことをする子ども



3 本年度重点的に取り組む目標・計画

笑顔いっぱい たかだま幼稚園

～子どもの笑顔を真ん中に～

子どもたちの笑顔いっぱいの幼稚園にするために

- ①家庭と力を合わせ短大と連携して
- ②伸び伸びとした自由保育を中心に
- ③園児一人ひとりみんなを大切に質の高い教育を実践します。

4 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	笑顔を創る教育の実践 ◇関連プロジェクト項目： 1・4・5・11	A	①今年度も「好奇心から始まる好きな遊びを通した学び」、「諸活動への取り組みのプロセスを通して子どもたちを伸ばすこと」を教育活動充実の方針として日々の教育活動を実践してきた。 ②日常の教育活動や運動会・遊戯会などの行事への取り組みを通して、あきらめなくて粘り強く挑戦する子どもたちの姿や、好奇心から始まった活動が子どもたちの試行錯誤により次の活動へと発展していく様子を数多く目にすることが出来た。節々にハッと気づかされる子どもたちの心の成長も含め、子どもたちを伸ばし笑顔にできたのではないかと考える。 ③羽陽短大の協力によりフィンガーボディーペインティング、土粘土遊び、造形遊び、運動遊び、水鉄砲遊び、短大生と遊ぼうなど子どもたちにとって豊かで価値ある教育活動を展開することができた。 ④初めてこの冬に姉妹園である天童なでしここども園との交流を持ち、天童高原でのそり滑り活動を行った。雪のない今冬にあって雪を楽しむことのできるよい実践であった。
2	笑顔を真ん中にした 連携と協力 ◇関連プロジェクト項目： 2・3・6・7・8・9・12	A	①園と家庭が心を合わせて子どもの教育にあたれるよう、日頃から家庭との連絡や情報交換を密にとるよう心掛け努力してきた。家庭からの協力も大きく、より子どもたちについて理解し安心して対応することが出来た。 ②今年度も教育活動及び教育環境の充実のために、羽陽短大より多大なる力添えをいただくことが出来た。その中で、園児が短大生と触れ合える機会をたくさん持てたことも、園児にとり（短大生にとっても）とても有意義で、よい経験であったと思われる。 ③年末に高揃小学校の企画による本園年長学年と小学校1年生の交流活動を実践し、幼小連携のうえで有意義な機会となった。小学校進学に向けて不安を少なくする良い橋渡しになったと思われる。

3	笑顔を支える環境づくり ◇関連アンケート項目： 5・6・10・11	B	①職員が少しでも園児のよりよき環境となれるよう、羽陽短大渡辺教授をスーパーバイザーに迎えた園児理解研修会を年3回行い、全職員で各園児を理解し対応できるよう取り組んできた。また、全職員が外部研修を計画的に受講し、そのスキルアップに努めた。 ②子どもたちの好奇心を刺激する種や粘り強く挑戦する取り組みへの種を意図的に蒔き、子どもたちの自活的な活動・取り組みが誘発されるよう教育環境作りに努めてきた。 ③園舎や設置遊具には古さが目立ってきているが、自然豊かな広い園庭は依然としてのびのびとした遊びや活動の場であり、走り回ったり、競い合ったり、虫や自然との出会いの場となって好奇心から次の活動への広がりを誘発するとともに良い教育環境となっている。 ④猛暑による熱中症リスク回避のために、熱中症危険指数計を設置し活動のガイドランを策定してその防止に努めてきた。しかし、「熱中症になりかけた」という声が一件寄せられたことは大変遺憾であり、子どもたちの安全のために尚一層注意していく必要がある。
---	---	---	---

評価（A：十分に成果あり B：成果あり C：あまり成果なし D：成果なし）

5 総合的な評価結果

評価	理由
A	<p>保護者アンケートでは、施設や設備に古さが目立ってきていることもあり「施設・設備は活用しやすくなっているか」の項目で「そうではない」という否定的な評価が7%あった、しかし、その他の項目については、今年度も「どちらかという」とを含めた肯定的な評価がほぼ100%を占める高い評価をいただき、記述欄にはたくさんの励みとなる温かい感謝の言葉をお寄せいただいた。その中で特に、園全体で子どもたちを見ていることへの感謝の言葉を多数頂戴したことは、各職員が日々心掛け本園の良き職員風土となっていることについてであるため、その指導姿勢が認められたことの証左と大いに勇気づけられたところである。</p> <p>これら保護者アンケートで得られた評価は、本園が取り組んできた①「遊びからの学び」や「園児の取り組みのプロセス」を大切にして、②節々で羽陽短大の力をお借りしながら伸び伸びとした自由保育を中心とした豊かな教育実践を展開し、③家庭と力を合わせて園児一人ひとりを大切にしながら日々の保育実践を積み上げてきた取り組みが評価されたものであり、子どもたちを伸ばし笑顔にする幼稚園づくりに十分成果があったものと考え、総合評価をAとしたものである。</p>

評価（A：十分に成果あり B：成果あり C：あまり成果なし D：成果なし）

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育活動の充実	今年度の方針を踏襲し、以下の方針で笑顔を創る教育活動の充実に努める。 ①遊び込み遊びきることを通した好きな「遊び」からの「学び」を大切にする。 ②試行錯誤し、他と関わり、粘り強く取り組む活動の「プロセス」を大切にする。 ③安心してのびのびと活動できるための「温かい保育」を大切にする。 ④豊かで意義ある体験・活動を創出するための羽陽学園短期大学との連携を大切にする。
2	教育環境の充実	今年度の方針を踏襲し、以下の方針で教育環境の充実に努める。 ①職員こそが子どもたちにとって最高の環境となれるよう努力する。 ②園と家庭が同じ気持ちで子どもたちの教育にあたるよう日頃からの良き関係作りに努力する。 ③安心安全な環境作りに努力する。（熱中症予防を含む園児の命の安全には特段の注意を払っていく。） ④園児が過ごしやすく利用しやすい笑顔いっぱいの園となるよう、認定こども園への移行に向けたハード面、ソフト面の準備を進める。

7 学校関係者評価委員の評価

◇評価者 花田嘉雄 評価委員（羽陽学園短期大学教授）

① 評価できる点

- 笑顔いっぱいたかだま幼稚園～子どもの笑顔を真ん中に～という目標の通り、自由保育を中心に子ども主体の伸び伸びとした教育を実践されている点が高く評価できます。感染症対策や熱中症対策等で大変な中、喜怒哀楽のある元気な子ども達の姿が見られるのは素晴らしいと思います。毎日元気な子ども達の声が短大まで聞こえてきます。また、造形教室で関わらせていただいておりますが、前向きに活動に取り組む子どもの姿や積極的に自分の思いを発言する子どもの姿がたくさん見られます。自主性が育っており、質の高い教育をされていることが窺われます。来年度は「遊び込み遊びきる」取り組みを通して、より子どもの自己充実感や探求心が育まれることと思います。
- 保護者アンケートでは、子どもの満足度、子どもの笑顔を真ん中にした家庭との連携に関する項目が非常に高く、評価できます。保護者から寄せられた声からも窺われますが、担任だけでなく園の全先生方と保護者との間に子どもを中心とした温かい信頼関係が築かれており、素晴らしいと思います。職員アンケートでもこれらの項目が満点であり、一人一人の先生方が最高の人的環境として責任感と自信をもって、時には試行錯誤しながら真摯に向き合っていることが窺われます。

② 改善が必要と思われる点

- PTA 役員への事前打診や行事、施設、その他の要望に対して丁寧に検討し、可能な範囲で対応されていますので、今後も保護者からの声を大切に負担のない範囲で改善していただけたらと思います。

③ その他

- 毎年、実習では大変お世話になり、感謝しております。先生方の優しく丁寧なご指導と素直で朗らかな子ども達のおかげで、充実した実習になっております。実習後、附属幼稚園で働きたくなったという学生の声を目にします。また、本学との連携の幅も年々広がっており、学生にとって貴重な体験をさせていただいております。今後ともよろしく願いいたします。
- 認定こども園への移行に向けて大変な年になりますが、ますます笑顔あふれるたかだま幼稚園になるようお祈り申し上げます。

◇評価者 羽田奈々重 評価委員（たかだま幼稚園 PTA 会長）

今年度は、新型コロナ5類移行にともない、園生活、行事における制限も緩和されたことは、子どもたちへの教育目標、計画、実践においても、良い影響が多かったのではないのでしょうか。地域、短大、小学校、他園などとの交流機会が増えたことに加え、参観における人数制限の解消により、行事自体が大いに盛り上がったことなどは、子どもたちの記憶に残る体験と今後役に立つ経験に、大きくつながったと思います。世の中や園の状況に応じて、活動や行事の延長、延期の判断、また当初の予定になかった活動の追加などの柔軟な対応は、大変評価できると思います。

保護者アンケートで寄せられた声に対して、対応できることは、迅速な改善がすでに見られています。また、検討が必要なことも前向きにとらえ、今後の改善に期待したいです。昨今、気象変動により、夏場における熱中症は、全国的にも大きな問題となってきています。園においても、指数計をもとに活動内容の見直しをしている所ではありましたが、熱中症になりかけたというお子さんの事例もふまえ、来年度の最重要課題として、対策を強化して欲しいです。

昨年度の関係者評価にも書かせて頂いたことと同様にはなりますが、職員の高いチーム力と、子どもたちと先生との関係性がとても良好であるという点、今年度のアンケートにも数多くの声があったことに、PTA 会長という立場からもお礼を申し上げます。子どもたちにとってたかだま幼稚園は、信頼できる「先生」という最高の環境があるからこそ、安心して楽しく通えているのです。そして、子どもが幼稚園を好きと思えるからこそ、保護者側も園と良好な

関係を築けていると思います。子どもを真ん中に、職員同士の連携、先生と保護者の細かな連絡や相談が一番大切なことであり、この良い風土は、今後も是非継承して行って欲しいです。そして、これからも地域を担っていく子どもたちが、人間形成において重要な幼児期をたかだま幼稚園で過ごしたことを誇りに思えるように、いつも笑顔あふれる幼稚園であり続けて欲しいと、心より願っております。

◇評価者 本間大資 評価委員（たかだま幼稚園 PTA 副会長）

我々は通常、一つの幼稚園（又は保育園など）しか経験しないため、こうした評価は、相対的な評価よりも絶対的な評価になりがちで、結果、好ましくない評価や、要望が多くなるものと推測されます。

そうした中で、保護者の皆さまから大変高い評価、ならびに温かい言葉をいただきましたことは、普段の園の取り組みの成果であると思います。

保護者の皆さまの意見にもありましたとおり、いつも園全体で子どもたちを見守ってくださり、誠にありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

一方で、「熱中症になりかけた」と意見をいただいたことについて、まずは、重症化しなかったことにほっとしております。幼稚園でも十分に注意した上での園活動の中での事態とは思いますが、気候変動の進行により、今後ますます猛暑となることも考えられることから、これまでの取り組みに加え、対策が必要になってくるものと思いますので、引き続き御検討いただけますようお願いいたします。

さて、先日開催されたPTA役員会において、役員の皆様が意見を述べる機会がありました。その際、出席されていた全員の先生方が、一生懸命にメモを取られていたことが非常に印象に残りました。そうした先生方の姿勢が、「笑顔いっぱい たかだま幼稚園」の実現に繋がっていると思います。

今後も、先生方、そして保護者が協力して、全員にとってより良い園になっていくことを、心より願っております。

◇評価者 矢口祥子 評価委員（たかだま幼稚園 PTA 副会長）

コロナがら類になり、行事の数は劇的には増えないにせよ、参観者の人数を緩和する等の対策をとって頂き、昨年度からの変化を感じることができました。

また、今年度は異例の猛暑となり、様々な園での活動や保育が大変だったことと思います。職員の皆様は最善を尽くしてくださったことと思いますが、それでも熱中症の危険があったこと、重く受け止めております。園児だけでなく、職員の皆様の安全を守るためにも、来年度の対策をどうぞよろしくお願い致します。

園の設備に関して職員の4分の1がより園生活で活用しやすさを求めているので、認定こども園の移行の際には、職員の皆様が活用しやすい設備にして頂きたいと思います。

保護者アンケートでよせられた声で、園全体で子どもたちを見ていることへの感謝の言葉が多かったですが、これは本当に日々の職員の皆様の努力のたまものだと思います。改めて感謝申し上げます。これからも、職員の皆様には笑顔で楽しく働ける環境を提供して頂きたいです。来年度は保護者の期待もあり、行事も増やすことも検討されるかと思いますが、職員の皆様のご負担が重くなり過ぎないように考慮していただきたいです。

PTA活動について、楽しく活動できる方と、仕事を休んだりして負担になる方がいると思うので、年度末のPTAの集まりの際にアンケートを書いてもらうのもよいかと思いました。そこでの情報をもとに、次年度再選された方へのお声かけの仕方も変わってくるかと思っています。そして、2年連続になってもやっていけかなと思っていただけるくらいPTAが楽しい場にできたらよいなと思いました。